

議員定数懇談会

議員定数懇談会報告書を議会運営委員会へ提出



議員定数懇談会報告書の概要

懇談会設置に至るまでの経緯

20年2月27日の議会運営委員会で、「議員定数のあり方について検討する機会を設けていただきたい」との委員からの申し出があり、その後の協議で8人の委員による懇談会を設置することとなった。

協議経過

全国の類型都市の議員定数、議員1人当たりの人口・行政面積、議員報酬や決算状況のほか、県内各市の協議状況など、議員定数を考える上で必要な調査を行いながら、定数のあり方について協議を行った。

協議の中で出された意見

現状維持の方向の意見では、合併に関し、協議すべき事項、検証すべき事項も残っており、もう少し時間をかける必要がある。

定数減は、市民の声を市政に反映させることが遠のくことになりかねない。市政のチェック機能をしっかりと果たすためにも現在の定数を維持すべきである。

削減の方向の意見としては、全国類似都市のデータによると定数24人

の市が最も多い。定数の削減率や人口減少率を考えると選挙の年には22人あるいは20人になっている可能性が高い。議会は市当局に対して究極の行財政改革を求めており、議会みずからもそれに向かって進むべきであり、現状の全国平均24人よりも先に進む姿勢を見せることが大事である。

市財政が行財政改革を進めなければ大変厳しい状況にあって、議会としてもある程度の改革は必要である。

定数に関するいろいろな状況を見ると全体的には減の方向にあると思われる。

定数の減を望む市民が多数である。ただ、定数は数だけを論じるのではなく、常任委員会の数など、議会のチェック機能とのかかわりを考慮することも含め、どのような見地で論ずるのか確認しながら、そのあり方を決めるべきである。

定数の減が市民の意向だとすれば削減は考えられる。ただし、議員報酬や政治倫理の問題等もあわせて定数を検討する必要がある。

以上の各会派の意見があった。

意見の集約

これらの意見を大きく集約すれば、一つは、「議員定数は現状維持の方向とすべき」であり、もう一つは、「議員定数は削減の方向とすべき」の二つとなるが、このうち議員定数は削減の方向とすべきとの会派が多数であった。

今後、議員定数については、議会運営委員会で協議を行います。

20年度の行政視察の受け入れは、

23議会117人

全国の議会では、議員の議案審査や事務に関する調査研究のため行政視察を行っています。20年度は能代市に23議会、117人が来能し市政全般にわたる事項について調査研究していかれました。20年11月以降は5市議会が来能しています。議会名と視察項目は次のとおりです。

北海道苫小牧市
「バイオマスタウン構想」

神奈川県大和市
「能代ふれあいプラザ」

佐賀県鳥栖市
「中心市街地活性化」

香川県さぬき市
「学校再編事業」

宮城県気仙沼市
「観光振興」

※来能した議会の半数以上は、能代市内に宿泊いただいています。